



2025年1月1日  
社会福祉法人シャローム  
発行人：片岡 宝子  
第40号

## 法人

### (1) 理事会・評議員会

2024年度 第3回理事会

2024年 10月 19日 於 希望の園

2024年度 第4回理事会

2024年 11月 16日 於 希望の園

2024年度 第2回評議員会

2024年 12月 7日 於 希望の園

2024年度 第5回理事会

2024年 12月 7日 於 希望の園

### (2) 辞任に伴う理事、理事長改選について

①前田豊彦理事長より2024年10月末に健康上の理由から理事長、理事を辞任したいとの申し出がなされ、2024年12月7日に希望の園にて開催された第2回評議員会にて承認されました。

②前田理事の後任理事として、第2回評議員会にて新保能宏氏（日本キリスト教団新発田教会牧師）が選任されました。任期は2024年12月7日から2025年度定時評議員会までです。

③第2回評議員会での理事選任を受けて、同日に第5回理事会を開催し、前田豊彦前理事長の後任として、新理事長に片岡宝子理事が選任されました。任期は2024年12月7日から2025年度定時評議員会までです。

### (3) 2024年度施設整備状況

ケアハウス希望の園廊下用の大型空調機（GHP）1台の老朽化更新を新潟県の社会福祉法人向け省エネ投資補助金の支援を受け実施しました。また、ケアハウス希望の園設立30周年記念事業として計画しています「厨房カウンターの改装」は2025年秋に実施する予定です。



## 希望の園

### (1) 笑顔の施設を目指して

施設長 渡邊 美穂

2025年を迎えました。新年から天気も良く、雪が多いと言われていましたが、今のところ少なく晴れの日もあり、気持ちが明るくなります。入居者の皆様も、外出しやすく、活動的な姿が見受けられます。1月は新入居者3名をお迎えいたします。ついこの間まで8名くらいおられた待機者が、現在1名になりました。空室を作らず、入居したい方が入居できるようにスムーズに受け入れ体制をとれるようにして、今年も入居希望者を募っていきたく思います。施設の老朽化対策としてエレベーター工事・食堂カウンター工事を控えています。入居者の皆様が安全に生活できるように設備を整え、皆様が混乱しないように職員全員で相談しながら進めていければと考えております。

施設内からの感染症発生は抑えられております。外部から感染されてくることがあります。やはり食事の栄養と休養が大切と感じます。

少人数で行える楽しい行事を計画しながら、入居者様も職員も、笑顔と笑い声の絶えない施設を目指していきたく思っております。

### (2) 平凡な日常を変える娯楽の大切さ

昨日と同じ今日を迎えることはとてもありがたいことで、とても幸せなことです。平凡な毎日は平和だという証拠です。これ以上のことはないでしょう。ただ、人間の心はそれでもどこか満足しないものではないでしょうか。平凡なら平凡で退屈を感じ、何か満たされなくなるのも人間の特性だと思います。それは年齢に限ったことではありません。

職員の仕事の優先順位を考えると、娯楽性の提供がどうしても一番後回しになってしまう傾向があるかもしれません。娯楽やレクリエーション的なものは別になくとも施設は成り立ちますし、大きな問題が発生するわけではありません。

しかし私たちとしては、皆様にただ住んでいただくだけではなく、楽しく住んでいただきたいと願っています。

コロナ以降、長期にわたり「集まること」「交流すること」「一緒に食事をする」「歌や音楽などの娯楽をみんなで楽しむこと」が、してはいけないことという風潮が続いたため、そのようなことを企画する気力も失せていったことで、娯楽はさらに失われていきました。

今は感染予防をしながら工夫をして娯楽性を小出しにし、平凡な日常に変化を起こして楽しんでいただいております。

今年も変化とサプライズのある日常を提供したいと思っております。



(12月17日・クリスマスイベント)



(12月24日・クリスマスプレゼントデー)

### (3)希望の園お食事メニュー紹介



12月17日(火)はクリスマスイベントの日として、チキン、ピラフ、メロン、エビフライ等豪華なメニューを用意いたしました。

## のぞみの里

### 1. 会議・研修会

- (ア) 運営委員会(9/3・12/3)  
於 敬和学園大学  
出席 小熊高広施設長  
岡田真樹(陪席) 千田満里子(陪席)
- (イ) 運営推進会議 於 のぞみの里  
(10/22・12/11)  
出席 小熊高広施設長  
岡田真樹ユニット総括  
千田満里子ケアマネ  
ご利用者:佐藤サツ様
- ※ 12/11は都合のため書面開催
- (ウ) 職員会議  
(9/24・10/9・11/8・12/4)
- (エ) ユニット会議  
両ユニットそれぞれ毎月1回開催

### (施設内研修)

- ① 「緊急時の対応」HP 閲覧 8/23～9/13
- ② 「防災訓練(総合訓練)」 9/23
- ③ 「BCP 訓練(感染症)」 9/27
- ④ 「感染症対策と蔓延防止」  
HP 閲覧 10/18～/27
- ⑤ 「BCP シミュレーション」 11/27
- ⑥ 「リスクマネジメント」  
HP 閲覧 12/2～12/16
- ⑦ 「ハラスメントについて」  
HP 閲覧 12/16～12/30

### (施設外研修)

- ① 「障害者雇用推進セミナー」(新潟県)  
11/12 小熊高広 齋藤初江
- ② 「雇用管理責任者研修」(新潟県)  
10/31・11/19・12/17 小熊 齋藤
- ③ 「処遇改善加算解説」 11/27 齋藤初江

### 2. 地域との交流

- ① 外部からの訪問  
・サルビアの会:傾聴ボランティア  
9/25、10/24・29、11/11・29、12/10・23  
※ 対面による傾聴や歌  
※ 9/20大雨のため休止
- ② 外部ボランティア  
・敬和学園大学ゼミ生ボランティア  
田中教授ゼミ生(レクリエーション)  
10/18、11/11・20、12/20  
・敬和学園大学生有志キャロリング 12/13

### 3. 2024年の出来事

9月「慶老会」

「さつまい芋収穫」(あやめ子ども園)

11月「秋の食事会」

12月「クリスマス会」

※ 訪問美容室・外食ドライブ等、随時

### 4. 給食だより



(9月26日慶老会“秋の小会席料理”)

五目御飯・豆腐ときのこのおろし蕎麦  
海老と玉子焼きの若芽サラダ添え  
のっぺい・抹茶ロールケーキ

### 5. 今後の課題・目標

< サービスの質を向上させる >

認知症高齢者のグループホームでは、入居者の有する能力に応じて、自立支援していく必要があり、なんでも介護職員が身の回りをお世話するのではなく、入居者の意思を尊重した上で、日常生活でできることを増やしていきます。

たとえば、食事を準備する際に、入居者が食べるだけの状態にするだけでは充分とはいえません。入居者自身も食事の準備をするようサポートすれば、入居者の自立を促せるでしょう。

サービス向上のためには、第三者の視点で評価することが重要です。事業所を運営していく上で見落とししていた点

に気づくこともあります。外部評価や介護相談員の受け入れやグループホーム運営推進会議等の取り組みを可能な限り取り入れていきます。

< 地域との連携を図る >

地域との接点を増やせるよう、地域の方々との交流を積極的に取り組むことが重要ですが、当施設は立地的に地域との繋がりが希薄なため、自ら足を使って地域との繋がりを模索していかなければなりません。

認知症高齢者のグループホームが地域社会に向けて実施している活動として、認知症の啓発活動や相談支援、認知症カフェなどが挙げられますが、当施設の立地や資金的にやや厳しい活動となるため、施設関連の関係各所と連携を強化していくことで、地域社会の一員として欠かせない存在になればと思います。

また近年は在宅介護に対する需要が増えています。在宅介護を支える活動を実施することで、地域に貢献できるでしょう。そこから入居者獲得につながる可能性もあるのではと思います。

< まとめ >

新発田市には認知症高齢者のグループホームが乱立しています。競争の激化や入居者・スタッフの人材難など、事業運営が厳しい状況です。しかし人材確保の工夫やサービスの質の向上などにより改善できる面も多く、その上で地域との連携も深めていくことによって、適切な事業運営が可能であるとも考えます。入居者また地域のニーズをよく理解しながら、安定した運営を目指します。(小熊施設長)

### 6. 今後の行事予定

1月「新年会」

2月「節分」「バレンタインデー」

3月「ひな祭り」

随時 外食ツアー・美容ツアー等

※「音楽会」(新発田キリスト教会有志)

※「紙芝居・祈りの会」(新発田教会)

※「IRORIの会」(昔話語り)

(開催については、感染予防対策等としての対応も合わせて随時検討しております。)

